

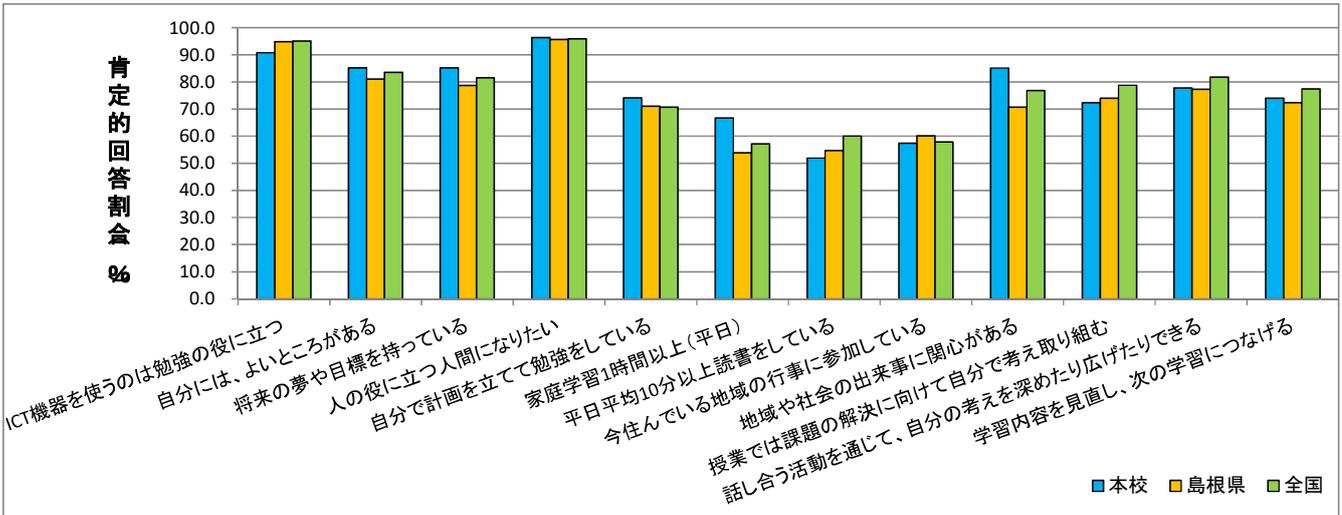
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
国語	○学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことや、日常の敬語について理解すること。 ●文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ●目的や意図に応じて、必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分の聞きたいことを中心に捉えること。	・ある条件(文字数、言葉など)のもとで、自分の考えをまとめる活動を積極的に取り入れる。 ・話し合いや対話、インタビューなどの活動において、目的を明確にして話を聞いたり、話し手が伝えたいことを中心に確かめるやりとりをしながら聞いたりする。
算数	○式が示された計算問題を正しく計算すること(一の位が0の二つの2位数の乗法の計算) ●式や筆算を具体物や図と関連付けて考察し、計算のきまりや計算に関して成り立つ性質、式の意味について理解すること。 ●示された一つの棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見出した違いを言葉と数を用いて説明すること。	・問題場面を式や筆算に表す際に、具体物の操作や図を基に考えを説明する活動を取り入れたり、表した式や筆算について、具体物の操作や図と関連付けて式や筆算の表す意味を読み取る活動を取り入れたりする。 ・図やグラフから読み取ったことや、複数の情報を比較して見出した違いについて、ある条件(言葉、数など)のもとで説明する活動を取り入れる。

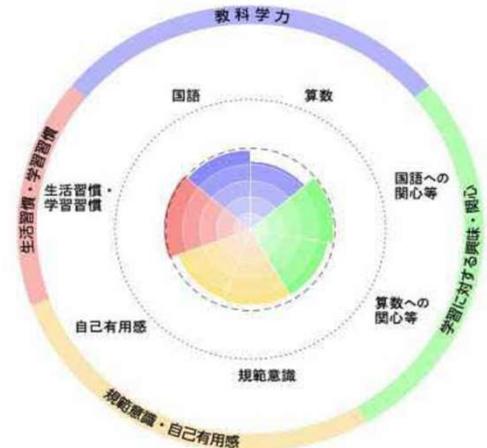
(2)児童質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
質問紙	○人の役に立ちたいという思いをもっている児童の割合が高い。 ○自分で計画的に、平日1時間以上の勉強時間を確保している児童の割合が高い。 ●自分の考えを伝え合うものの、他者の意見や自分と違う意見を生かしたり、互いの考えのよさを生かしたりして自分の考えを見直したり、まとめた活動が十分でない。 ●平日平均10分以上の読書(授業以外)をしている児童の割合が少なく、全くしない児童の割合は3割を超えている。	・個々の学習内容や方法を見直すことで、学力向上につなげる。 ・考えを伝え合う場において、考えを伝えるだけでなく、感想を伝え合ったり、お互いの意見のよさを見つめたり、相手の考えを取り入れたりしながら自分の考えをよりよくしていく。 ・読書活動の充実を図ったり、国語辞典や新聞を活用した学習活動を進めたりすることで、様々な文章表現や言葉に触れられるようにする。

(3)児童質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・個人思考や意見交流の場において、タブレットや電子黒板などのICT機器の効果的な活用方法を模索する。

【受検者数】  
 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。